

萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

ひがしっ子 10月

2023



園長コラム

運動会への多くの皆様のご参加ありがとうございます。天候にも恵まれ気持ちの良い秋晴れの下で実施することができました。自分の1年間の成長と比べると、こども達の1年間の成長には目を見張るものがありますね。去年の今時期の写真を見返してみると顔つき1つとっても違いが分かります。

私は「ハレとケ」という生活のメリハリを大切にする考え方でこども達にとっての生活を見る視点を大切にしています。運動会はハレの日、晴れの舞台。日常がケの時間です。ハレだけでは、いい生活にならないし、そもそもそれだけだとハレにならない。日常のケの時間がハレを作り出す土台となります。

東園では、行事のための行事でなく、日常の延長線上に行事があるように心がけていると保育者たちがよく使う言葉があります。日々の生活をいかに過ごすかということ大切にしている東園の保育者たちの心持ちが表れているのではないのでしょうか。

そして、日常の中にも実はハレとケがあって、1つひとつは小さなできごとです。当たり前の日常というケ。ワクワクドキドキするようなちょっとした体験がハレ。そういった小さな積み重ねがあるからこそ、こども達は輝いているのだと思います。

0～2歳児クラスの1か月

丁寧、着実に成長していく

今年の夏の暑さとは打って変わって気持ちの良い日々が続いています。特に芝生で過ごす気持ちよさは格別です。一人ひとりが思い思いに過ごしながらも、友達との距離感が近づいてきているのを感じます。特に2歳児のすみれ組は、年齢的にも3歳の子が増えてきたこともあって行動範囲や視野も広がってきています。それは心の広がりや連動するところがあり、自分のことだけでなく、友達のことにも感じられるような距離感で保育を進めている様子が感じられ、そのことで友達同士の遊びが広がりつつあります。

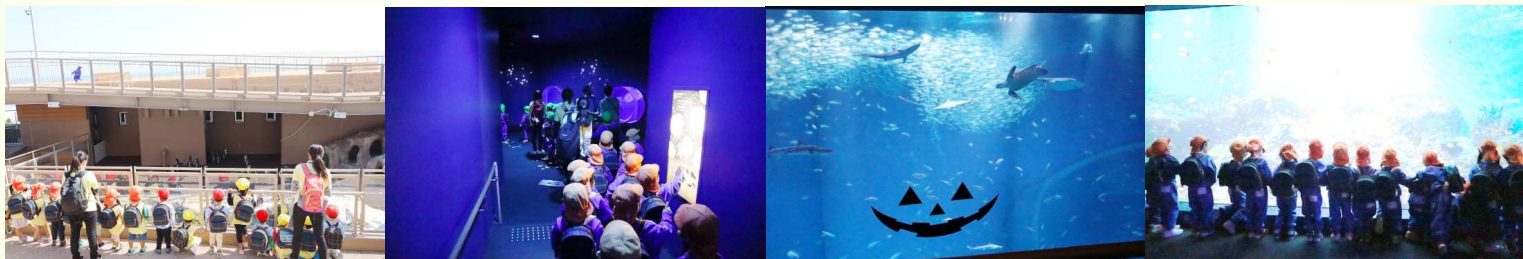




そこにあった当たり前の時間

何年ぶりでしょう。秋の遠足でアクアワールド大洗水族館に行ってきました。このあたりで水族館といえばここでしょうから、ご家族で行ったこともある人も多いかもしれませんね。遠足で行くのは、コロナ中は宇都宮動物園のみにしていましたから、かれこれ4～5年ぶりの久しぶりの水族館でした。

写真からもわかるこども達の食い入るように見つめる瞳。こども達にとって掛け替えのない経験が、コロナと言う一言でここ数年黙認されてきたことを思うと本当に恐ろしく感じます。当時の私は園長として、こども達と保護者、職員など園の関係者全員のことを第一に考えて様々な決断をしてきたことに後悔はありませんが、こども達にとってこんな当たり前に体験できた時間や楽しそうな表情を奪ってしまっていたんだということをしっかりと受け止めて、これからの東園のかじ取りをしていく決意を改めて感じております。



ハレの舞台

ご家族に皆さんに見てもらった運動会とは違って、総練習の時の写真を主に選ばせていただきました。大きく分けて運動会当日と違いを感じることは2つです。1つが0～2歳児のこども達とそのクラスの保育者も一緒に見守っていること。0～6歳の大きな家族がそこにいることと保育者にとっても自分たちのクラスのことだけでなく、東園全体のこども達のことを知れる時間になっています。もう1つは、こども達の表情に緊張感があること。写真は小さいのでわかりにくいと思いますが、当日より硬い表情というのか、格好いい姿を見てもらいたい！といった気持ちが見て取れます。親から見たらまだまだ赤ちゃんと言える年齢なのかもしれませんが、大人顔負けの真剣さがそこにはあります。運動会を終えると保育者たちが口をそろえたように、こども達の変化を口にするのは、そういった心の成長のことなんだと思います。

